



# 愛知長久手ロータリークラブ

## 2018-2019

### WEEKLY



例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=トヨタ博物館「小ホール」  
 会長 奥野悦弥 幹事 伊藤広治 会報 青山和成  
 Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446  
 FAX:0561-64-5459



## インスピレーションになる



本日 第 737 回 2019 年 2 月 5 日(火曜日)729 号

### <本日のプログラム> Today's Program

- ◇ 点 鐘
  - ◇ ロータリーソング 「君が代」「奉仕の理想」
- 演題 : クラブフォーラム  
 進行 : 会長・幹事

### 前回 第 736 回例会 2019 年 1 月 22 日(火曜日)記録

#### <出席報告>

員 総 数 17 名

出 席 者 13 名 出 席 率 76.47 % 前々回補正出席率 66.66 %



#### <会長挨拶>



### 愛知長久手ロータリークラブ

会長 奥野 悦弥

みなさんこんにちは。只今ご紹介いただきました愛知長久手ロータリークラブの奥野でございます。本日は、瀬戸北ロータリークラブ様との合同例会ということで当クラブがホストを務めさせていただきます。加藤会長、伊藤幹事様はじめ瀬戸北ロータリークラブの皆様にはわざわざここトヨタ博物館までお越しいただきありがとうございます。分区内交流を活発にしよう今年度の村井ガバナーの方針もありお互いの親睦と友情を深め、お互いのクラブ同士が学び、よりよいロータリー活動を推進していければと思います。本日は、どうぞ宜しくお願いいたします。また、本日の例会では、卓話として米山奨学生お二人瀬戸北 RC の謝 姉 (しゃてい)さん 愛知長久手 RC の 汪 洋 (おうよう)さんにもお越しただいてご報告をしていただく予定をしておりましたが、汪洋さんがインフルエンザに罹り本日は、欠席されておりますので謝 姉さんだけをお願いいたします。お二人とも中国からの奨学生で謝さんは、青島、汪さんは、瀋陽のご出身だそうです。ちょうど北京を挟んで北と南の街からお越しです。お二人とも今後の日中友好にも欠かせない奨学生の方たちです。日本と中国が、1978年日中平和友好条約を締結してから40年が経ちました。その間両国には様々な外交的な問題もありましたが、このようにロータリークラブとして奨学生を向かい入れ日本のことをまた、ロータリーの活動のことを知っていただくこのような民間交流がお互いの理解に繋がると思います。お二人には、ぜひ日本と中国との友好の懸け橋になっていただければ幸いです。卓話楽しみにしております。どうぞ宜しくお願いいたします。最後に瀬戸北ロータリーの皆様と今後も益々の親睦を深め、お互いのロータリーの活動が発展することを願ひまして私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

# 瀬戸北ロータリークラブ



## 会長 加藤 雅人

皆さんこんにちは、瀬戸北ロータリークラブ会長の加藤雅人でございます。

創立 40 周年の式典には、会長・幹事様には大変お世話になりありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、本日の瀬戸北ロータリークラブの例会は、第 1902 回 当年度 20 回目でございます。残りの例会数は、あと 15 回です。あつと言う間に半分が過ぎました。後残り半分、頑張ってみますのでよろしくお願いいたします。

本日はガバナー方針にあります分区内交流ということで、前回は、2018 年 9 月 11 日にガバナー公式訪問で、瀬戸お越しいただき、合同例会をさせていただきました。今回は逆に、愛知長久手ロータリークラブ様に、我々瀬戸北ロータリークラブ・メンバー 30 人でお邪魔させていただきました。本日はどうぞよろしくお願いいたします。この合同例会の趣旨は、他のクラブの活動に触れたり、見たり、情報を交換することで、その良さを感じることが出来るとともに、自分のクラブの良さを再発見することが出来き、そしてそれらの活動は、ロータリアンとして奉仕の理念を確立し、奉仕の実践に結び付けてゆくことに、大きく役に立たせる為の例会でございますので、例会を拝見し、交流も深めていただきたいと思います。

また、瀬戸北ロータリークラブは、ガバナーの活動方針であります、『あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！』というスローガンのもと、まずはロータリー活動の基礎となる奉仕の理念を例会の中から学び、その実践を自分自身が活動している街、地域、からロータリー活動を広げて行こうという方針の下で、瀬戸北ロータリークラブは、地域貢献を重きに置き、創立 30 周年から瀬戸市様と行っております、日本語スピーチコンテストの実施。また、社会福祉協議会様と共催で、4 年目となります、災害ボランティアセンターの立ち上げにかかわる支援、そして、瀬戸市内でのロータリーデーなどの開催をしております。

いかに、地域の方にロータリークラブを広めていくのには、大変厳しいものがあり、そのためには、継続的に事業を展開することも必要であり、また、新たな事業も進めていくことも大事だと考えます。

今後は、会員数も低下してくるこの時代に、近隣のロータリークラブ様と手を取り合って、ロータリー活動を推進していくのも一つの方法かもしれません。

ますます、ロータリークラブの存続が、厳しい時代となるやもしれませんが、今後ともよろしくお願いいたしまして、会長あいさつに代えさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

### <委員会報告>

#### ■ニコボックス委員会■

- ・本日は瀬戸北 RC の皆様ようこそお越しいただきありがとうございます。合同例会ということで 奥野悦弥  
親睦が深まることと思います。米山のお二人卓話宜しく申し上げます。
- ・瀬戸北 RC の皆様と合同例会を迎えることを喜ばしく思います。又、本日愛知長久手の奨学生が 伊藤広治  
インフルエンザで欠席しております。誠に申しわけありません。
- ・瀬戸北 RC の皆さん、日頃より大変お世話になっております。本日は宜しく願い申し上げます。 丹羽司一
- ・お久しぶりの瀬戸北 RC さんとの合同例会です。よろしく申し上げます。 日野典子
- ・瀬戸北 RC の皆さんようこそおいでいただきありがとうございます。本日どうぞよろしくお願い 山田文明  
致します。米山奨学生卓話楽しみにしております。
- ・本日は分区分交流会で瀬戸北さんとの懇親を深めたいと思いますので、楽しみにしております。 中川清子
- ・瀬戸北 RC の皆さんお世話になっております。本日は交流事業宜しく御願い致します。 青山和成

- ・本日もよろしくお願ひします。 田中信子
  - ・本日もどうぞ宜しくお願ひいたします。 伊藤 真
  - ・皆様本日も宜しくお願ひします。 神谷恵理
  - ・今年初のロータリーで気が引き締まります。本年もどうぞよろしくお願ひします。 大月涼子
  - ・本日もよろしくお願ひします。 大橋良宣
  - ・本日もよろしくお願ひ致します。 小谷恒夫
- “ 冬<sup>ふゆ</sup>花<sup>はな</sup>火 燃える 瞳<sup>ひとみ</sup>と エステーローダー 手に手を取って ポ〜と 熱くなる ”

### <幹事報告>

- ① 次週例会 1/29 は規定休日になります。次回例会は 2/5(火)場所はトヨタ博物館小ホールになります。例会終了後は、第 8 回理事役員会を行いますので理事役員の方はよろしくお願ひいたします。
- ② 先日 2018-19 年度下期会費納入についてのお願いをお渡しいたしました。まだ、お振込をされていない方につきましては、1 月末日までにお振込みをお願ひいたします。

### <卓 話>

#### 「米山奨学生卓話」

瀬戸北ロータリークラブ  
米山奨学生 謝 娣

それでは名古屋工業大学修士 2 年謝娣が卓話に移りたいと思います。その前に本日愛知長久手ロータリークラブとの合同例会に参加させて頂き誠にありがとうございました。それでは奨学金生活発表いたします。内容としては「自己紹介」と「米山の一員として」「どのように奨学金を使ったか」「今後の展開」の 4 つのことに分けて話させて頂きます。

#### ◎自己紹介について

私は 2011 年 5 月、青島の近くの威海市から参り日本に came。最初 2 年間は京都の日本語専門学校で 2 年間に 2 回進級してトップクラスで卒業しました。2013 年に名古屋工業大学に入学して環境セミツク学科でセミツクについて学習しています。4 年間頑張り、そのまま修士に進学しました。今年の 4 月からジェイトさんに働かせて頂きます。

#### ◎米山の一員としてについて

米山の一員としては、一言でまとめると楽しいです。例会で様々な人と出会い、いろいろな話が聞けるからです。「あなたの街でローター-を！あなたの街からローター-を！」という話を聞かせてローター-の「奉仕の理想」を学ばせて頂きました。こうした例会では世界を広げ、自分だけでなく、周りの状況にも目を配るようになりました。そして研修会、イベント、忘年会などで楽しんでます。左上の写真は去年 11 月に皆さんと滋賀へ旅行に行ってきました。水陸両用バスに乗って琵琶湖、楽しかったです。左下は去年の忘年会です。久しぶりに 3 年前の友達に出会って一緒に沢山の話をして楽しかったです。右は去年の夏に参加させて頂いたものでベトナムの先輩と今の友達に知り合いました。このような活動で様々な文化とふれあい、いろいろな国の友達ができるのは楽しいです。こちらは当クラブの 40 周年記念式典に参加させて頂いた時の写真でありがたかったです。また日本では式典でこのようにやることを知ることができました。米山の一員としてまとめると、楽しい！！世界を広げることと異なる文化と触れ合ったこと、いろいろな国の人と友達ができただけで楽しむことができました。米山の独自のカウンセラー制度で自分ひとりだけではないと感じ、毎日を心強く過ごせることができました。

#### ◎「どのように奨学金を使ったか、自分はどのように変わったか」について

私は大学 2 年の時から 5 年間勤務している「やきとりのきんぼし」という場所です。きんぼしと一緒に成長し、社会勉強として仕事に対する意識を知ったことが大事だと考えます。きんぼしさんはアルバイトさんの意見も大事にして自分が経営者の立場に立って店をどのように良くすればいいかを意見を通してくれるので感謝しています。一昨年と昨年の忘年会の写真です。名工大の中国学友会の副会長を務めています。左の写真は 2017 年の花火大会のもので 30 人ほどで西瓜を食べながらきれいな花火を見ていました。右は昨年の中秋節の時で春節と同じくらいのイベントで皆と楽しいお祝いができました。副会長を務めることで仲間たちと一緒にイベントを企画したり、リーダーシップを取れるようになりました。後輩から信頼される先輩にもなりました。次に奨学金を趣味の旅行に使いました。この近くの乳岩峽や香嵐溪に行っても楽しかったです。それからスキーにも使いました。去年のクリスマスに長野で 288 名の中国人を集めたイベントです。右はスキーをした時の写真です。このような大きなイベントで中国人と交流し、スキーのうまい方に教えてもらっ

てがすべれようになりました。

これはボランティアに参加した時の写真です。左は名古屋中国春節祭応援友好交流会の時の写真です。私は何処でしょう。右は今年の1月12日から14日、栄のエンゼル広場で披露したの春節祭です。踊ったりするのは今まで考えもしてなかったですが、挑戦するようになりました。こうしていろんな役を演じることで自信を持つようになりました。こちらはチャリティに参加した時の写真です。今でも中国では子供は学校に通えない子供がいます。真ん中の人設立して日本でお金を集めて子供に必要な文房具やお金を持って行って子供を助けています。私はスタッフとして参加させて頂きました。このように世界中に目を向けるようになりました。右はフィッティスの試合に参加して最良身材賞を受賞しました。

このように米山から頂いた奨学金でいろんなことをして自分はこのように変りました。リーダーシップが取れるようになりました。多くの人と交流することで今までの知らない視野を広げて世界中に目を向けるようになりました。やらなかったことにも挑戦して自信にもなりました。本当にローターに感謝しています。

## ◎今後の展開について

重要な目標としてはまず修士論文を完成させることです。そして学校を卒業してからは責任感のあるある社会人として働きたいです。米山を卒業しても立派な先輩として活躍したいです。以上で終わります。皆さん、本日はありがとうございました。

## 「米山奨学生卓話」

愛知長久手ロータリークラブ  
米山奨学生 汪洋

こんにちは、明けましておめでとうございます。愛知工業大学経営情報科学専攻博士後期課程三年生の汪洋です。博士課程三年生に奨学金をいただいたことにとっても感謝しています。

米山奨学生になり、ご支援があったから、専念に博士論文を書くことができ、2019年博士学位を取得することができたので、博士論文の内容について報告させていただきたいと思います。

## 研究の背景と目的

私は工業経営に興味があり、大学院前期課程では外国企業の日本における工業製品のブランド構築の研究をした。日本の工業製品とイギリス、中国の製品と比較研究をした結果、日本の工業製品は安価で品質がよく、高い信頼を得ることにより、国際的に強いブランドの構築が完成している事が明白となった。時間をかけて構築した品質やブランドの製造を末永く継続していくため、ものづくり企業における事業承継問題は重要な課題である。

日本における優れた工業製品の生産システム、特に高品質で高機能な製品を産み出す工業経営に関心があり、TQMとして普及しているが、その発展の歴史・経緯を調査した。戦後の「デミング賞」「SQC」「JIS」などに始まり、驚異の復興と高度経済成長を果たし豊かな日本を築きました。後に「TQC」を経て全社的な活動「TQM」により高品質な工業製品、家電、自動車、精密機械などは世界の国々に行き渡った。このような日本的なTQM品質経営はグローバルに伝搬し欧米アジア中国の工場に衝撃を与えるに至ったと考える。しかし、経済急拡大している中国における品質の課題は多く、精密機械、自動車さらには食品工業においては緊急な問題を持っています。

日本における品質管理経営の歴史、経験、成功要因などを追究考察することにより、中国における品質管理活動の改善に役立てると考える。そのために、まず、日本における品質管理経営の歴史、特にTQM品質管理の由来、発展、特徴などについて先行文献を収集及び分析した。また中国における品質管理活動の歴史、発展、現状などについて、先行文献及び現場を分析した。日中両国における品質管理及び品質経営について比較分析した。比較分析結果に基づいて、中国における品質管理やTQM品質経営に存在している問題などを追究した。さらに、中国におけるこれからの品質管理の改善方策などの提案を試みた。

日本の中小製造事業の企業継続の現状をみると、事業承継の問題が深刻となっている。一代で急成長し消えていく企業が多い中国の中小企業の事業承継は深刻な問題となっている。これから20年後日本と同じく、経営者高齢化問題が顕在化する、製造業の経営と生産技術の継続について、日本の中小企業の現状を把握したうえで、中国中小製造企業の承継問題を先進国である日本の中小企業承継実態と比較・分析し、中国中小製造企業の承継について提案をする。

中国は発展途上国と言え、これから継続的、安定に発展していくように、中小製造企業が人、資産、知的財産の承継が円滑にでき、事業承継を順調に行うことが望ましい。中国政府においては、国の国情に合わせた中小企業事業承継の政策の展開が必要である。

## 博士論文の構成

「第1章 序論」本研究の背景と研究目的を明確にして本論文の意義構成について詳述する。

### 「第2章 中国における日本的品質経営の問題意識に関する研究」

日本の品質経営について把握し、中国の生産工場の品質経営問題意識を明らかにする。

日本では優れた工業製品の生産さらに高品質で高機能な工業製品を大量に製造している。日本独特な日本的な全社品質経営(TQM)は世界的に有名であり、中国の製造業に大きな影響を及ぼすに至った。日本の全社品質経営を導入実施している中国企業ではあるが、その品質レベルは依然として高くなく課題が多い。同じ様に品質管理の手法・理念を実施しているが、日中においては製品品質に差がある。その原因の一つは、社員から経営者までの品質経営に対する問題意識が異なると考え実態調査をして分析をした。日本の品質経営における発展の歴史並びに、中国における品質管理の経緯を究明した上で、中国の製造業で働いている従業員を対象にしたアンケート実態調査に基づいて品質管理に関する問題意識の要因分析をした。その分析結果から、中国の中小製造業における従業員の労働問題意識等を明らかにする。

### 「第3章 IoT時代に至るまでの日本と中国の中小企業の品質管理」

「中国は世界の工場」と言われているが、中国の製造業の品質管理においては、多数の問題が存在している。品質を向上する研究が緊急な課題となってきた。一方、中国の隣国である日本の製造業では品質技術立国の方針を徹底的に実施しているため、20世紀1960年代から品質経営が世界トップクラスに入っているとされている。本章では、日本と中国の品質管理の歴史と成功要因などを追究するとともに、中国における品質管理の歴史について比較分析する。分析結果に基づいて、これからの品質管理の改善方策などを提案した。品質管理や、ブランドの製造を継続するため、第4章では事業承継の考察をする。

### 「第4章 日本の中小ものづくり企業の事業承継の考察」

日本の中小の製造企業の事業承継における問題は、日本政府及び地方自治体の支援方策などの実施により、直面している事業承継の問題が改善していると考えられる。また、経営者の年齢、経営意識、後継者の承継意識、経営環境などが変化しているために、事業承継の課題も変化していると推測される。後継者の育成及び選定、古参従業員の理解、M&Aを順調に促進する情報支援・マッチング、支援方策の効果及び不足、金融機関との関係など現在の中小企業の事業承継における課題及び変化を把握することは、中小企業の事業承継を円滑に促進することが不可欠である。本章においては、現在の経営者が事業を承継した際の問題と、現在の後継者に事業を承継する問題を比較分析することで事業承継の課題の変化を把握することができると考える。そして、本論文においては、中小企業の事業承継の現状を把握するとともに、事業承継における問題の変化を分析及び考察することを目的とする。そのために、先行文献を踏まえたうえで、事業承継に関する調査結果や研究結果や改善方策体制などについて記述する。また、中小企業の事業承継の現状及び変化を把握するために、アンケート調査を実施する。結果に基づいて、事業承継の現状及び変化について分析考察を行う。結果としては、中小企業の事業承継においては、改善方策や支援体制の効果があるが、事業承継の問題が依然として改善していないといえる。

このような、日本の中小企業の実態を把握し、第5章では、中国の中小企業の事業承継の実態調査を行う。

### 「第5章 中国の中小企業における事業承継に関する実態調査の研究」

中国経済にとって中小企業の存続及び発展は重要な課題である。特に中小企業の事業承継が永続的な課題である。本研究においては、中国の中小企業の経営者を対象としたアンケート実態調査の結果に基づいて、中小企業における事業承継の準備状況、承継実態を把握するとともに、準備及び計画の影響要因を明らかにすることを目的とする。分析結果により、事業承継の準備状況及び後継者の問題意識、意思決定などを明らかにする。調査により経営者の事業承継の意識を喚起する。6章で日中の中小企業の事業承継の比較研究を行う。

### 「第6章 中国と日本の中小企業の承継問題の比較分析」

中国経済にとって4000万社と言われる中小企業の存続及び発展は重要な課題である。特に中小企業の事業承継は永続的な課題である。事業承継においては後継者問題、資産相続、経営権移行、人脈の蓄積、技術承継などに関わる事業承継計画を円滑に行うことが必要である。しかし、中国では事業承継計画及び準備を行っていない企業が多い。準備していない原因を追究し、事業承継の



準備意識を喚起することが緊急な課題である。そこで、本章においては、中国と日本の中小企業の経営者を対象としたアンケート実態調査を行い結果に基づいて、日本と中国の中小企業における事業承継の準備状況、承継実態を把握するとともに、中日比較をして、問題点を抽出する。特に、中国の中小企業に対して事業承継の準備意識を喚起することを提案する。

## 「第7章 結論」

本研究で得られた一連の成果を要約するとともに、今後の研究に向けた課題を整理する。中小企業の事業承継においては、事業承継における問題が時代に従って変化していくとともに、不変で永遠の課題でもある。今後の課題としては、具体的な問題解決方を提案することである。

以上を総括すると本研究の成果を実際に製造業やその他様々な業態・業種の企業に適用するなどして実証すること、そのための体制を確立し適切な事業承継プロジェクトを設計することなどが今後の課題である。

以上私の奨学生生活の間取得した成果です。これから日本で就職し、引き続き頑張りたいと思います。奨学生を卒業しても、皆さんとの貴重な絆を大切にしたいとずっと思っています。将来、学友、そして自分もロータリークラブに参加したいと思います。一歩ずつ歩み続けていきたいと思っております。見守っていただけますと幸いです。宜しくお願い致します。

愛知長久手ロータリークラブの皆様から大変お世話になっております。こころから感謝です。ロータリークラブ関連する皆様との出会いに感謝です。大事にしたいと思います。これからも宜しくお願い致します。



2月12日(火)	2月23日(土)	2月26日(火)	3月5日(火)
同週祝日振替休会	東尾張分区IM (キャッスルプラザ)	規定休日	職場例会 (介護犬総合訓練センター)